

4-1-2 調査ガイド・帳票

市民参加型自然環境調査の試行に向けて、調査方法、調査対象種の調査ガイド（図鑑的資料）ならびに調査を記録するための帳票を作成した。

調査ガイドは、市民（特に小中学生）が対象種を目視にて確認した後に、種を同定するとともに、生息環境や形態的特徴ならびに餌や鳴き声等を理解し、自然に対する興味の喚起や環境に対する意識の向上等、環境学習に寄与できるような内容を整理し、樹林地（カケス・コゲラ・ルリビタキ）、疎林地（シジュウカラ・ウグイス・メジロ）、緑の多い住宅地（キジバト・ムクドリ・ヒヨドリ）、市街地（ドバト・カラス類・スズメ）の指標種ごとにそれぞれ作成した。

また4つの環境区分以外に、モデル地点・施設周辺で確認できる可能性がある種のうち、オオタカ・カルガモ・ハクセキレイ・ホオジロ・ジョウビタキ・カワラヒワについて調査ガイドを作成した。

また帳票は、調査者と調査時間、天候、さらに調査日ごとに調査対象種の確認数、およびその状況が記載できるように作成した。

さらに、不明な種の特徴をメモできるように、不明種の特徴記載用シートを作成した。

作成した調査方法、調査ガイド及び帳票（調査票）を、次ページ以降に示した。

学校に飛来する鳥類調査の方法

調査時期

11月～1月

総合学習の時間やクラブ活動の時間または休憩時間に行ないます。

調査の手順

- ①学校に整備された樹林や水辺で鳥類を観察します。
- ②鳥類の種類と数を記録します。
- ③鳥類の行動を観察し記録します。

準備するもの

観察用具：双眼鏡やフィールドスコープ、調査票、筆記用具、カメラ、時計など

- 1) 学校の樹林や水辺、学校緑地の周辺で鳥類を観察します。
- 2) 鳥類の種類と数を記録します。
 - ・その場で種類がわからない場合は、特徴を記録したり写真撮影し、後で図鑑などで調べます。
 - ・調査が終わったら、種名と数を調査票に記録します。
- 3) 次に、鳥類の行動を観察し記録します。
 - ・鳥類は、水を飲んだり、餌を食べたり、木に止まって休憩したり、飛んでいたり、鳴いていたり、巣を作っていたりなど様々な行動をしています。どのような行動をしているか観察し、記録します。
- 4) 木の実などを食べていた場合は、合わせて植物を調べて記録します。

数の目安

少	1～5
中	6～10
多	11以上

調査票記述例

調査地

野火止小学校

学校に飛来する鳥類調査 調査票

調査方法

調査日	11月				
	1日	2日	3日	4日	5日
調査者	佐久間・鈴木	佐久間・鈴木	中島・森	中島・狩谷	森・狩谷
調査時間	13時30分～16時30分	12時00分～15時30分	12時30分～15時00分	9時00分～12時00分	9時30分～12時30分
天気	☁ 曇 雨	☁ 曇 雨	晴 ☁ 雨	晴 曇 ☁	晴 ☁ 雨
カケス	少	—	—	—	—
コゲラ	—	少	—	—	—
ルリビタキ	少	少	—	—	少
シジュウカラ	中	中	少	—	中
ウグイス	—	—	—	—	—
メジロ	—	中	少	—	—
キジバト	中	少	中	—	少
ムクドリ	多	中	少	—	少
ヒヨドリ	多	多	少	少	2
ドバト	中	少	中	少	中
カラス類	少	少	—	—	中
スズメ	多	多	多	中	多
その他(ジョウビタキ)	—	—	少	—	—
その他(ハクセキレイ)	—	—	少	—	少
その他()	—	—	—	—	—
不明	—	—	—	—	—
不明	—	—	—	—	—
観察して気付いたこと ・鳥がどのような行動をしていたか など	・コゲラとシジュウカラは一緒に飛来し、木の上で餌を食べていた ・キジバトは池で水浴びをしていた ・ムクドリは花壇で餌を食べていた	・コゲラとエナガは一緒に飛来した ・ムクドリとヒヨドリは校庭に飛来した	・キジバト、ムクドリ、ヒヨドリは花壇を歩いたり、餌を食べていた	・雨が降っていたので、鳥はあまり見られなかった ・ヒヨドリ、ドバト、スズメは校舎の屋根に止まっていた	・コゲラとシジュウカラは一緒に飛来し、木の上で餌を食べていた ・ガマズミの実を食べていた

調査地周辺に生息している鳥類 （ 樹林 ）



カケス

頭は、白と黒のまだらもようのどが白く、目の周りは黒いよ



・額から頭のとっぺんまでが白と黒のまだら模様で、喉、腹は白色、目の周りや尾羽は黒く、後頭部、背面、胸部等は葡萄褐色の全長が33cm程度の鳥。

・羽の色が美しく、特に基部は黒、白、青がだんだら模様。

・平地、山地の林の中で見ることができる。

・昆虫類が主食だが果実、種子等も食べる。

・カシ、ナラ、クリの実を地面や樹皮の間等の一定の場所に蓄える習性があり、冬はそれらの実を食べる。

・鳴き声

「ジェー、ジェー」としわがれた声で鳴く。



コゲラ

・スズメとほぼ同じ大きさのキツツキのなかま。

・雄は後頭部の両側が赤い。

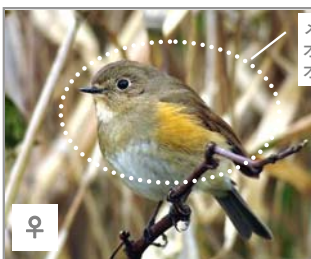
・低地や低山の林内や都市公園などでもよく見られる。

・幹や枝を下から上に移動しながら主に昆虫などの小動物を探して食べる。

・繁殖期は単独かつがいで行動するが、冬にはしばしばカラ類やエナガなどの混群にはいることがある。

・鳴き声

「ギイー、ギイー」と、にごった声で鳴く。

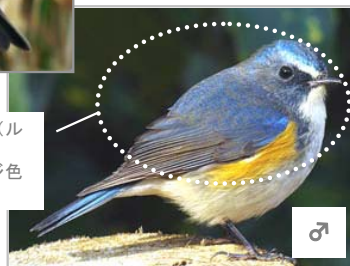


♀

ルリビタキ

メスは、体が薄い茶色で、オスと同じようにわき腹がオレンジ色だよ

オスは、体が青い（ルリ色）だよわき腹は、オレンジ色だね



♂

・ルリ色のとても綺麗な小鳥。

・オスは体の上面がルリ色で脇腹がオレンジ色、メスの上面は灰褐色で尾だけに青みがある。

・夏に高い山で繁殖し、冬に山麓、丘陵、暖地に移動する。

・林内の暗い環境を好む。

・下枝に止まって地上を見張り、昆虫やクモを見つけると、舞い下りて捕える。

・鳴き声

「ヒツチョロチョロチョロリ」と鳴く。

調査地周辺に生息している鳥類 （疎林）



シジュウカラ

・胸から腹にかけて黒いネクタイのような帯があり、白い頬が目立つ小鳥。

・平地から山地のいろいろな林に生息し、樹木のある市街地でもよく見られる。

・昆虫、クモ、植物の種子や果実を食べる。

・樹洞や石垣の隙間などにコケなどを運び込んで、椀型の巣をつくる。

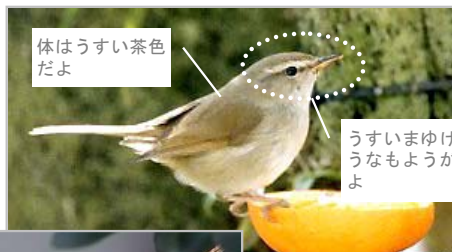
・巣箱もよく利用する。

・3～7月にはなわばりを形成して単独もしくはつがいで過ごす、それ以降は数羽から十数羽の群で行動することが多い。

・鳴き声

さえずり：ツーパー、ツーパー

地鳴き：ツーツー、チツジュクジュク



ウグイス

・体は茶褐色で淡い眉斑があり、体の下面が少し淡く尾が長い小鳥。

・メスはオスより一回り小さい。

・藪の中を枝渡りしながら活発に移動し、葉の裏にいる昆虫などを食べる。

・林床にササが密生している場所を好み、営巣する。

・鳴き声

さえずり：ホーホケキョ

地鳴き：チャツ、チャツ



メジロ

・ウグイス色をした目の周りが白い小鳥。

・よく茂った常緑広葉樹林を最もよく好むが、平地から山地までいろいろな林に生息し、市街地の公園や庭にもよく姿を見せる。

・甘いものが好きで熟した柿の実やウメ、サクラ、ツバキなどの花蜜をよく吸い、やわらかい木の実や昆虫、クモなども食べる。

・巣は灌木にクモの糸などを使って椀型につくる。

・鳴き声

さえずり：チーチュル、チーチュルルル

地鳴き：チー、チー

調査地周辺に生息している鳥類 （ 緑の多い住宅地 ）



キジバト



つばさに赤茶色のふちどりのうろこのようなものがあるよ

・黒地に赤褐色の淵どりのうろこ模様の翼が特徴のハトで、首すじに青い縞模様がある。

・日本でも全国で繁殖する。

・低地から山地の明るい林に生息し、林床、草地、農耕地などの地面を歩きながら草の種や木の実を食べる。

・住宅地や公園などでも見られる。

・鳴き声
デーデーポポー、デデーポポー



全身が黒っぽいよ



ムクドリ

・オレンジ色の嘴と足、白い顔が目立つ、黒っぽい鳥。

・日本ではほぼ全国で繁殖する。

・樹木の点在する村落地や市街地の公園、庭園などで地面を歩きながら主にミミズや昆虫などを食べる。秋冬期にはムクノキなどの木の実も好んで食べる。

・巣は人家の屋根の隙間や戸袋、樹洞、巣箱などに枯れ草や樹皮などを敷いてつくる。

・繁殖期が終わると群れで生活し、街路樹や竹藪などに数百から時には数万羽もの集団ねぐらを形成することがある。

・鳴き声
さえずり：キュルキュルキュルリヤー
地鳴き：ゲーツ、ギャー

ヒヨドリ



ほっぺたが茶色だよ

全身が灰色だよ

・全身灰色で耳羽が茶褐色のムクドリより少し大きめの鳥。

・平地の公園から山地の森林まで樹木のある環境ではどこにでもごく普通に見られる。

・特に繁殖期には昆虫を好んで食べるが、花の蜜や葉菜類など様々なものを食べる。

・畑の野菜などに被害を与えることもある。

・鳴き声
ビーヨ、ビーヨ、ビーヒョロロ

調査地周辺に生息している鳥類 （市街地）



ドバト



・特に都市部を中心に非常に多く見られる鳥で、その数は増え続けている。

・基本的に草食性であるが、昆虫なども食べることもある。

・一年中繁殖することができ、年間7～8回の繁殖が可能。

・市街地ではマンション等の人工建造物が営巣場所となっており、糞害が問題視される。

・鳴き声
クックー、クックー

ひたいが出っ張ってるよ
くちばしが太いよ



ハシブトガラス

ひたいが出っ張らないよ



ハシボソガラス

くちばしが細いよ



カラス類

・雑食性でゴミや動物の死体などを食べる（都市部では、エサを得る為にゴミ集積所を荒らす）。

・繁殖期は春～夏で、一夫一妻制で協力して子育てを行う。

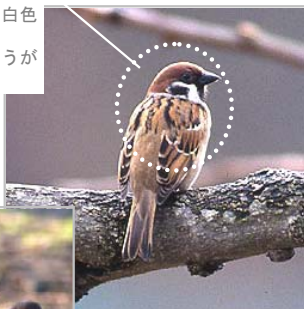
・巣は樹上に小枝を組んで作るが、電信柱や看板などに営巣することもある。また巣材も針金・プラスチックなども使う。

・ハシブトガラス：嘴が太く上嘴が曲がる。額（嘴の上）が出っ張っている。鳴き声は「カーカー」と澄んでいる。

・ハシボソガラス：嘴が細く上嘴があまり曲がらない。額（嘴の上）が出っ張っていない。鳴き声は「ガーガー」と濁っている。

頭は赤茶色だよ
ほっぺたから腹にかけては白色だよ
ほっぺたの大きな黒いもようが目立つよ

スズメ



・人家の近くに生息するなじみ深い小鳥。

・頭部は赤茶色、背中褐色で黒斑があり、頬から腹にかけては白色をしている。

・頬にある大きな黒い斑点は遠くからも目立つ。

・春の繁殖期にはつがい生活し、雨樋と屋根のすき間などに枯れ草で巣を作る。

・雑食性で、イネ科を中心とした植物の種子や虫を食べる。都市部ではサクラの花、パン屑・菓子屑や生ゴミまで、何でも食料にする。

・鳴き声
さえずり：チツ、チョン、ジュン
地鳴き：チュン、ジュジュ

調査地周辺に生息しているその他の鳥類

目の周りが黒く、眉毛のような白いものがあるよ

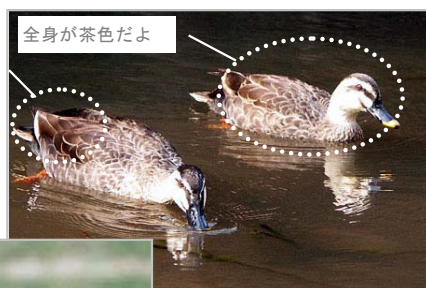


オオタカ



- ・平地から山岳地帯にまで生息している。
- ・飛翔能力が高く、中小型の鳥（ハト・カモ等）を空中で捕獲し捕食する里山の猛禽類。
- ・白い眉斑と黒い眼帯が特徴である。
- ・尾には4本の黒っぽい帯があります。
- ・食物連鎖の頂点に位置するため、自然の生態系が健全でないと生息できない。

尾の近くは濃い茶色になるよ



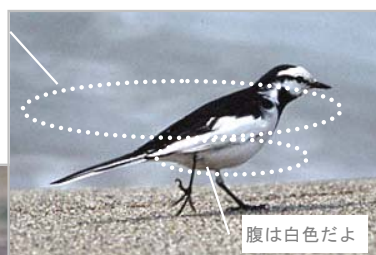
カルガモ

- ・全国の平野部から山地にかけての水辺に広く分布する留鳥で、市街地でも普通に観察される。
- ・全身が茶褐色で地味、尾に近づくほど濃い茶色になる。雌雄同色同柄である。
- ・水面で採食し、食性は主に植物食。水中の藻などを食べるが、水際に生えたイネ科植物などの実を食べることもある。
- ・一夫一妻で、日本国内でも晩春から初夏にかけて繁殖する。夏場になると市街地の河川や湖沼・学校のプールなどで子供を連れた様子が観察される。

頭から背中・胸にかけては、黒色または灰色だよ



ハクセキレイ



- ・全国に分布する留鳥または漂鳥。
- ・頭から肩、背にかけてが黒色または灰色で、腹部は白色だが胸部が黒くなるのが特徴的である。顔は白く、黒い過眼線が入る。
- ・主に辺に住むが、水辺が近くにある場所ならば畑や市街地などでもよく観察される。
- ・食性は、動物食で、土中などに潜む虫やクモ、ミミズなどを捕えて食べが、近年では、パン屑なども餌にしている。
- ・足を交互に出して素早く歩く。夜は近隣の森などに塀を取るが、市街地では建築物などに塀を取る様子も観察されている。
- ・鳴き声：チュチン、チュチンと飛翔時に鳴く。

調査地周辺に生息しているその他の鳥類



ホオジロ



- ・頬と喉が白く胸は茶色い小鳥。
- ・メスはオスに比べて色がにぶく、顔は褐色と白い模様。
- ・木の梢、など高い所にとまって、胸を反らせた姿勢で天に向かってさえずる。
- ・集落、農耕地、草地などの周辺の藪地、いろいろなタイプの樹林の林縁などで広く見られる。
- ・主に地上で草の種子や昆虫などを食べる。
- ・小さな群れで行動する。
- ・鳴き声
チリリ・チツ、チツ・チチチ



ジョウビタキ

胸から尾にかけてはオレンジ色だよ
つなさに白くて細長い
もようがあるよ

メスは頭がうす茶色だよ



- ・冬の日本では人里や都市部の公園などでもよく見られ、身近な冬鳥。
- ・オスは頭上が白く、目の周りが黒いのが特徴で、メスは頭が淡褐色。
- ・胸から腹、尾にかけてはオスメスとも橙色で、翼は中ほどに白くて細長い斑点がある。
- ・昆虫やクモなどを捕食するが、冬には木の実もよく食べる。
- ・鳴き声
「ヒィ、ヒィ、ヒィ」や「キィ、キィ、キィ」と甲高い声と軽い打撃音のような「カツ」という声を組み合わせて鳴く。

カワラヒワ



- ・翼に黄色い斑をもつ小鳥。
- ・人家周辺、農耕地、雑木林、河原に生息し、植物の種子を地上で食べる。
- ・巣は枝の茂みに枯れ草や木の皮などを使って碗型につくる。
- ・冬には主な生息地を河原に移し、大小さまざまな群れを形成する。
- ・鳴き声
さえずり：チョンチョンジューイ
地鳴き：キリリコロロ

調査地	
-----	--

学校に飛来する鳥類調査 調査票

調査日	〇〇月							
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
調査者								
調査時間	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
天気	晴 雲 雨	晴 雲 雨	晴 雲 雨	晴 雲 雨	晴 雲 雨	晴 雲 雨	晴 雲 雨	晴 雲 雨
カケス								
コゲラ								
ルリビタキ								
シジュウカラ								
ウグイス								
メジロ								
キジバト								
ムクドリ								
ヒヨドリ								
ドバト								
カラス類								
スズメ								
その他()								
その他()								
その他()								
不明								
不明								
観察していて気付いたこと ・鳥がどのような行動をしていたかなど								

調査地	
-----	--

関越自動車道(コリダー)に飛来する鳥類調査 調査票

調査日	12月26日				
	午前			午後	
調査者					
調査時間	10時～11時	11時～12時		13時30分～14時30分	14時30分～15時30分
天気	晴 雲 雨	晴 雲 雨		晴 雲 雨	晴 雲 雨
カケス					
コゲラ					
ルリビタキ					
シジュウカラ					
ウグイス					
メジロ					
キジバト					
ムクドリ					
ヒヨドリ					
ドバト					
カラス類					
スズメ					
その他()					
その他()					
その他()					
その他()					
その他()					
不明					
不明					
観察していて気付いたこと ・鳥がどのような行動をしていたかなど					

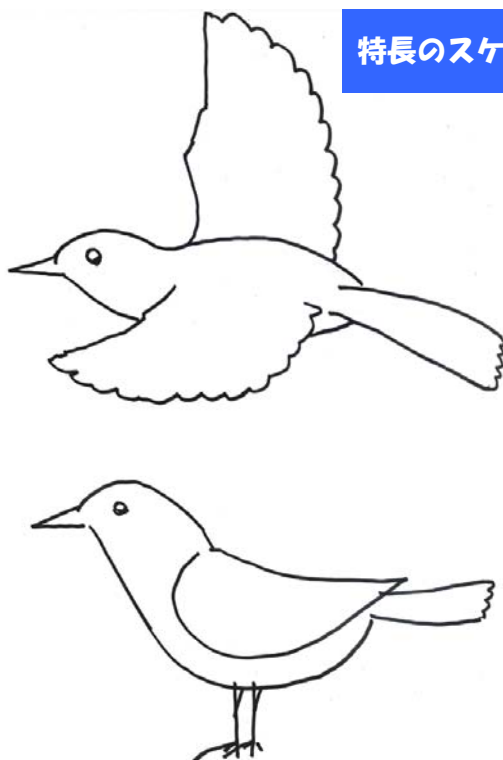
調査地

不明種の特徴

調査日

調査者

特長のスケッチ



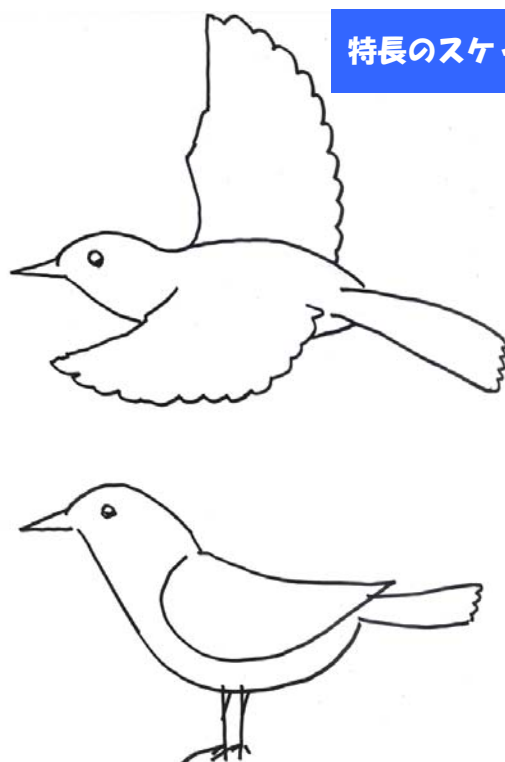
●名前がわからなかった鳥の特長をとらえてスケッチしましょう

●鳴き声や大きさ、色や模様等の特徴を記録しましょう

調査日

調査者

特長のスケッチ



●名前がわからなかった鳥の特長をとらえてスケッチしましょう

●鳴き声や大きさ、色や模様等の特徴を記録しましょう